



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日

上場会社名 中国工業株式会社
 コード番号 5974
 代表者（役職名）代表取締役社長
 問合せ先責任者（役職名）専務執行役員 経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東証スタンダード市場
 URL <http://www.ckk-chugoku.co.jp/>
 （氏名）野村 實也
 （氏名）小田 和守 TEL (0823) 72-1322
 配当支払開始予定—

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	6,282	12.9	△58	—	△23	—	30	—
2022年3月期第2四半期	5,563	△0.2	△105	—	△69	—	△52	—

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期 3百万円（—%） 2022年3月期第2四半期 △106百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2023年3月期第2四半期	9	35	—	—
2022年3月期第2四半期	△16	03	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
2023年3月期第2四半期	11,788		4,686		36.3		1,318	37
2022年3月期	11,761		4,734		36.6		1,324	82

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 4,283百万円 2022年3月期 4,304百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2022年3月期	—	—	—	15.00	15.00	—
2023年3月期	—	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00	—

（注）配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	13,500	4.9	150	134.4	200	40.8	120	△9.1	35	09

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	3,420,000株	2022年3月期	3,420,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	171,061株	2022年3月期	171,061株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	3,248,939株	2022年3月期2Q	3,249,833株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の業績予想につきましては、当社が現時点で入手している情報に基づいたものであり、実際の業績につきましては今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想等の前提となる条件等については、〔添付資料〕2ページ〔当四半期決算に関する定性的情報〕(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による国内外の経済への影響が続いております。加えて、ウクライナ情勢の長期化、外国為替市場での急激な円安・ドル高による影響で、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

一方、当社グループを取り巻くガス事業分野のエネルギー関連においては、電力や都市ガスの小売り自由化やエネルギー供給源の多様化の環境下にあつて、競争激化が続いております。また、過去に例のない値上げが続いている鋼材を中心とした諸資材や電力他エネルギー費用等の大幅な高騰による収益への影響も顕著となつてきております。

このような経済情勢のなか、当社グループは引続き受注の拡大・販売価格の是正に努め、売上高は、高圧機器事業、鉄構機器事業及び施設機器事業は増収となりましたものの、運送事業は減収となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は62億82百万円（前年同期比7億19百万円の増収）となり、営業損失は58百万円（同46百万円の赤字縮小）、経常損失は23百万円（同45百万円の赤字縮小）となりました。別途、投資有価証券売却益62百万円等を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、30百万円（前年同期の赤字から黒字）となりました。

なお、当期における当社グループ各事業への新型コロナウイルス感染症による影響は、運送事業・生産・販売等に顕著な影響はみられません。

報告セグメントの種類別の業績は、次のとおりであります。

高圧機器事業は、主力製品であるLPガス容器の売上及びLPガスプラント工事関連の受注が増加し、またLPガスバルク貯槽の更新需要による販売も堅調であったこと等により、事業全体の売上高は40億41百万円となり、前年同期を6億88百万円(20.5%)上回りました。また、セグメント利益(営業利益)は、売上高の増加により、前年同期を99百万円上回る1億79百万円となりました。

鉄構機器事業は、鉄構製品の受注が増加したことにより、事業全体の売上高は2億26百万円となり、前年同期を15百万円(7.5%)上回りました。また、セグメント利益(営業利益)は、利益率の低下等により前年同期を8百万円下回る6百万円となりました。

施設機器事業は、畜産関連部材の販売数量が増加したことにより、事業全体の売上高は9億24百万円となり、前年同期を37百万円(4.2%)上回りました。また、セグメント利益(営業利益)は、売上高の増加により、前年同期を28百万円上回る89百万円となりました。

運送事業は、貨物取扱量が増加しましたが関連工事に係る受注の減少により、事業全体の売上高は10億90百万円となり、前年同期を21百万円(2.0%)下回りました。また、セグメント損失(営業損失)は、売上高の減少に加えコストの上昇等により、前年同期16百万円の赤字から57百万円の赤字に拡大となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、電子記録債権が1億27百万円減少しましたが、原材料及び貯蔵品が2億7百万円増加した結果、資産合計は前連結会計年度末と比較して27百万円(0.2%)増加し、117億88百万円となりました。

負債は、電子記録債務が1億89百万円、流動負債のその他が1億57百万円それぞれ減少しましたが、短期借入金3億2百万円増加した結果、負債合計は前連結会計年度末と比較して75百万円(1.1%)増加し、71億1百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が17百万円、非支配株主持分が27百万円それぞれ減少した結果、純資産合計は前連結会計年度末と比較して48百万円(1.0%)減少し、46億86百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期決算短信(5月13日)にて発表しましたものより変更しておりません。

今後、当社グループを取り巻く関連業界の情勢の変化により、通期業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	576	485
受取手形、売掛金及び契約資産	3,432	3,435
電子記録債権	490	362
製品	206	272
仕掛品	819	887
原材料及び貯蔵品	376	584
その他	108	129
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	6,008	6,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	580	573
機械装置及び運搬具（純額）	774	712
土地	2,503	2,503
リース資産（純額）	164	141
建設仮勘定	28	19
その他（純額）	19	37
有形固定資産合計	4,071	3,988
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,477	1,454
繰延税金資産	2	7
退職給付に係る資産	15	-
その他	170	175
貸倒引当金	△42	△43
投資その他の資産合計	1,624	1,593
固定資産合計	5,752	5,632
資産合計	11,761	11,788

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,216	1,266
電子記録債務	1,435	1,245
短期借入金	1,231	1,534
リース債務	47	42
未払金	206	136
未払費用	98	105
未払法人税等	25	49
未払消費税等	13	13
前受金	185	289
賞与引当金	124	144
役員賞与引当金	9	4
その他	230	72
流動負債合計	4,826	4,905
固定負債		
長期借入金	484	492
リース債務	118	100
繰延税金負債	141	132
役員退職慰労引当金	22	22
退職給付に係る負債	1,407	1,422
その他	25	25
固定負債合計	2,200	2,195
負債合計	7,026	7,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,710	1,710
資本剰余金	329	329
利益剰余金	1,970	1,952
自己株式	△147	△147
株主資本合計	3,861	3,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	442	439
その他の包括利益累計額合計	442	439
非支配株主持分	430	403
純資産合計	4,734	4,686
負債純資産合計	11,761	11,788

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	5,563	6,282
売上原価	4,472	5,085
売上総利益	1,090	1,197
販売費及び一般管理費	※ 1,195	※ 1,255
営業損失(△)	△105	△58
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	24	29
助成金収入	6	0
その他	9	9
営業外収益合計	40	39
営業外費用		
支払利息	3	4
貸与資産減価償却費	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	4	4
経常損失(△)	△69	△23
特別利益		
固定資産売却益	1	4
投資有価証券売却益	34	62
特別利益合計	35	67
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△34	43
法人税、住民税及び事業税	18	38
法人税等調整額	△2	△8
法人税等合計	15	30
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△49	13
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△17
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△52	30

四半期連結包括利益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2021年 4 月 1 日 至 2021年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 9 月 30 日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△49	13
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56	△9
その他の包括利益合計	△56	△9
四半期包括利益	△106	3
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△107	27
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△23

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。